

tpc. TPCマーケティングリサーチ株式会社
TPC marketing research corp.

Patient Report No.90

滲出型加齢黄斑変性の患者調査

抗VEGF薬による眼内注射治療の実態と満足度、新規治療のニーズを調査

滲出型加齢黄斑変性の患者調査 調査概要

■ 調査趣旨

- 当調査では、滲出型加齢黄斑変性と診断され、治療のために現在医療機関を受診している463人を対象に、医療機関を受診するまでの経緯、現在受診している医療機関、治療状況と治療満足度、抗VEGF薬による眼内注射治療の実態、新規治療(新しい眼内注射薬、飲み薬、iPS細胞を用いた細胞移植治療)に対するニーズ等を集計・分析している。
- 調査結果より、抗VEGF薬による眼内注射治療を現在行っている人は半数近くであり、うち過半数が「アイリーア」を使用。各抗VEGF薬の使用で、目の症状、視力の回復に対する効果が高いと感じている人は多い。また、新規治療の中で、iPS細胞を用いた細胞移植治療に興味がある人が8～9割、この中で実際に受けてみたいと思っている人が7割を占める。

◆ 調査方法

- ✓ Webアンケート調査
- ✓ 調査エリア：全国
- ✓ 調査対象：滲出型加齢黄斑変性と診断され、治療のために、現在医療機関を受診している40歳以上の男女
- ✓ サンプル数：463

性別	N	%
男性	380	82.1
女性	83	17.9
合計	463	100.0

年代別	N	%
40代	110	23.8
50代	85	18.4
60代	131	28.3
70代以上	137	29.6
合計	463	100.0

◆ 調査ポイント

- ✓ 医療機関を受診するまでの経緯
- ✓ 現在受診している医療機関
- ✓ 治療状況と治療満足度
- ✓ 抗VEGF薬による眼内注射治療の実態と満足度
- ✓ 抗VEGF薬による眼内注射治療の不満点
- ✓ 医療機関(医師)の不満点
- ✓ 新規治療のニーズ

□ 調査期間	2022年5月
□ 発刊日	2022年7月8日
□ 報告書体裁	PPT/PDF
□ 頒価	594,000円(税抜 540,000円)

【調査分析】

TPCマーケティングリサーチ株式会社

<http://www.tpc-osaka.com>

リサ・リレーション事業部 ソリューショングループ

担当: 水上 徹

t.mizukami@tpc-osaka.com

調査概要

スクリーニング(SQ3)集計

被験者特性

分析編

1. 医療機関を受診するまでの経緯①	
(自覚症状・年齢、受診するまでの期間)	12
2. 医療機関を受診するまでの経緯②	
(受診のきっかけ、最初に受診した医療機関) . .	13
3. 現在受診している医療機関	14
4. 加齢黄斑変性の治療状況	15
5. 抗 VEGF 薬による眼内注射治療の実態と満足度 . . .	16
6. 抗 VEGF 薬による眼内注射治療の不満点	17
7. 加齢黄斑変性の治療満足度	19
8. 医療機関(医師)の不満点	20
9. 新規治療のニーズ①	
(既存治療より症状に対する効果の高い眼内注射薬)	21
10. 新規治療のニーズ②(毎日服用する飲み薬)	22
11. 新規治療のニーズ③	
(iPS 細胞を用いた細胞移植治療(再生医療)) . .	23

【クロス集計表の見方】

(N=30以上)

[比率の差]

	全体	+10 ポイント
	全体	+5 ポイント
	全体	-5 ポイント
	全体	-10 ポイント

集計編

1. 加齢黄斑変性による目の症状	25
1) 医療機関を受診する前に自覚した症状	25
2) (うち)最初に自覚した症状	27
2. 最初に症状を自覚した年齢	29
3. 最初に症状を受診してから	
初めて医療機関を受診するまでの期間	31
4. 目の症状を自覚してすぐに医療機関を受診しなかった理由	33
5. 医療機関を受診したきっかけ	35
6. どちらの目を加齢黄斑変性と診断されているか	37
7. 加齢黄斑変性と診断されてから	
実際に治療を開始するまでの期間	39
8. 最初に受診した/現在受診している医療機関	41
1) 最初に受診した医療機関	41
2) 現在受診している医療機関	43
9. 医師から指示されている受診頻度	45
10. 医師の指示通りに受診(通院)しているか	47
11. 医師の指示より受診(通院)頻度が少ない理由	49
12. 加齢黄斑変性の治療を中断したことがあるか	51
13. 加齢黄斑変性の治療を中断した理由	53
14. 医療機関で行っている治療内容	55
1) これまでに行ったことがある治療	55
2) (うち)現在行っている治療	57
3) (うち)現在行っている治療/治療の併用状況	59
15. 加齢黄斑変性の治療を開始してから	
抗 VEGF 薬による眼内注射治療を行うまでの期間	62
16. これまでに使用したことのある/現在使用している抗 VEGF 薬	64
1) これまでに使用したことのある抗 VEGF 薬	64
2) 現在使用している抗 VEGF 薬	66
17. 現在行っている眼内注射薬(抗 VEGF 薬)の投与頻度 . .	68
18. 現在行っている眼内注射薬(抗 VEGF 薬)の連続投与期間	70
19. 現在の抗 VEGF 薬を使用する前に行っていた治療 . .	72
20. (他の抗 VEGF 薬から)現在の抗 VEGF 薬に切り替えた理由	74

21. 抗 VEGF 薬による眼内注射治療は		
目の症状に対する効果が高いと感じるか	76	
1) アイリーア	76	
2) アバスチン	78	
3) ベオピュ	80	
4) マクゼン	82	
5) ルセンティス	84	
6) ラニビズマブ BS	86	
参考) 使用した薬(抗 VEGF 薬)の名前がわからない薬	88	
7) 製品別比較	90	
22. 抗 VEGF 薬による眼内注射治療は		
視力の回復に対する効果が高いと感じるか	92	
1) アイリーア	92	
2) アバスチン	94	
3) ベオピュ	96	
4) マクゼン	98	
5) ルセンティス	100	
6) ラニビズマブ BS	102	
参考) 使用した薬(抗 VEGF 薬)の名前がわからない薬	104	
7) 製品別比較	106	
23. 抗 VEGF 薬による眼内注射治療の不満点	108	
1) アイリーア	108	
2) アバスチン	110	
3) ベオピュ	112	
4) マクゼン	114	
5) ルセンティス	116	
6) ラニビズマブ BS	118	
参考) 使用した薬(抗 VEGF 薬)の名前がわからない薬	120	
24. 加齢黄斑変性の治療における効果満足度	122	
25. 加齢黄斑変性の治療における総合満足度	125	
26. 日常生活で気をつけていること	127	
1) 医師から日常生活で気をつけるよう指示されていること	127	
2) 実際に気をつけていること	129	
27. 診察時に思っていることをどの程度伝えられているか	131	
28. 診察時に思っていることを伝えられていない理由	133	
29. 医師や医療機関に対する不満点	135	
30. 加齢黄斑変性の治療で医療機関に支払う		
1 か月あたりの治療費(自己負担額)	137	
31. 医療費の自己負担割合	139	
32. 高額療養費制度の利用状況	141	
33. 加齢黄斑変性の影響により		
日常生活で困っている(悩んでいる)こと	143	
34. 加齢黄斑変性について知っていること	145	
1) 根本的な治療がなく、		
病気の進行を遅らせる治療であること	145	
2) 放っておくと、失明する可能性があること	147	
3) 加齢だけが原因ではなく、		
それ以外の要因も関わっていること	149	
35. 既存治療より症状に対する効果が高い		
眼内注射薬の使用意向	151	
36. 既存治療より症状に対する効果が高い		
眼内注射薬の使用意向が低い理由	154	
37. 既存治療より症状に対する効果が高い		
眼内注射薬を使用する場合に重要度が高いこと	156	
38. 毎日服用する飲み薬の使用意向	160	
1) 既存の眼内注射薬(抗 VEGF 薬)と同等の効果があり、		
眼内注射薬の代わりに使用できる飲み薬	160	
2) 既存の眼内注射薬(抗 VEGF 薬)より効果は劣るが、		
眼内注射薬の代わりに使用できる飲み薬	163	
3) 既存の眼内注射薬(抗 VEGF 薬)と一緒に使用(併用)することで、		
眼内注射薬を単独で使用するより、高い効果がある飲み薬	166	
39. iPS 細胞を用いた細胞移植治療		
(再生医療)に対する興味度合い	169	
40. iPS 細胞を用いた細胞移植治療		
(再生医療)を受ける場合に心配に思うこと	171	
41. iPS 細胞を用いた細胞移植治療(再生医療)への		
興味はあるが、受けてみたいと思わない理由	173	

42. 加齢黄斑変性の治療に関する情報の入手先 . . .	175
1) 情報の入手先	175
2) 最も参考になっている入手先	177
43. 加齢黄斑変性の治療に関する情報を 集めるために使用しているサイト(又は SNS)	179
1) 使用しているサイト(又は SNS)	179
2) 最も参考になっているサイト(又は SNS)	181

調査票

調査票

滲出型加齢黄斑変性に関するアンケート

選択肢記号の説明

- ☐ 複数選択（チェックボックス）
☐ 単一選択（ラジオボタン）
☐ 単一選択（プルダウン）

SAR

SQ1

あなたは、医師から加齢黄斑変性（症）またはAMDと診断されたことはありますか。
 また、診断されたことがある人は、加齢黄斑変性症（またはAMD）の現在の治療（受診）
 状況として、あてはまるものをお選びください。
 ※加齢黄斑変性（かれいおうはんへんせい）は、加齢により眼（目）の網膜にある黄斑に傷
 害（変性）が起こり、視界のゆがみや視力低下などの症状を引き起こす病気です。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医師から診断されたことがあり、現在病院や診療所・クリニック（医療機関）を受診している
 医師から診断されたことがあり、過去に病院や診療所・クリニック（医療機関）を受診したことが
☐ 2. ある（現在は受診していない）
☐ 3. 検診などで指摘／疑いを受けたが、病院や診療所・クリニック（医療機関）は受診したことがな
☐ 4. この病気は、自分には関係ない／（上記にあてはまるものはない）

SAR

SQ2

では、あなたが医師から診断され、医療機関で治療を行っている（行っている）加齢黄斑変性
 （症）またはAMDのタイプは以下のどちらですか。
 あてはまるものを1つお選びください。
 ※タイプを覚えていない方やわからない方の中で、（抗VEGF薬による）眼内（硝子体内）
 注射治療や眼（目）へのレーザー治療（光線力学的療法）を行っている方は、選択肢1の
 滲出型（又はウェット型）をお選びください。
 ※滲出型と萎縮型を両方診断（治療）されている方は、主に治療を行っているものを1つお答
 えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 滲出（しんしゅつ）型（又はウェット型）加齢黄斑変性
☐ 2. 萎縮（いしゆく）型（又は非滲出型、ドライ型）加齢黄斑変性
☐ 3. 覚えていない／よくわからない

MAC

SQ3

あなたが現在加齢黄斑変性（症）またはAMDの治療を、医療機関で行っていないのはどのよ
 うな理由からですか。
 あてはまるものがあればすべてをお選びください。（いくつでも）
 ※医師の判断で治療を中止（中断）した場合は、選択肢15のみをお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 治療により、目の症状が改善したから
☐ 2. 治療により、目の症状が改善しなかったから
☐ 3. 治療により、副作用や感染症が出たから
☐ 4. 忙しくて受診できなくなったから
☐ 5. 日常生活に支障がなかった（なくなった）から
☐ 6. 自分で対処できると思ったから
☐ 7. （目への）注射治療（抗VEGF薬による治療）が嫌だったから
☐ 8. （目への）レーザー治療（光線力学的療法）が嫌だったから
☐ 9. 病院での待ち時間が長かったから
☐ 10. 病院に行くのが面倒だったから
☐ 11. 医師とのコミュニケーションがよくなかった／医師の治療方針に合わなかったから
☐ 12. 治療費が高いと思った／治療費の支払いが困難になったから
☐ 13. 新型コロナウイルス感染症が流行した影響で受診しなかったから
☐ 14. その他【FA】
☐ 15. 医師の判断により、治療を中止・中断したから

SQ3_14FA

【調査票】
 SQ1～SQ3:スクリーニング調査
 Q1～Q45 :本調査

MTM

Q1

あなたが加齢黄斑変性（症）による目の症状で、医療機関を受診する前に自覚した症状は
 どれですか。
 あてはまるものをすべてお選びください。
 また、そのうち一番最初に自覚した症状をお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

Q1S1
 Q1S2

1. 医療機関を受診する前に自覚した症状
 2. （うち）最初に自覚した症状

選択肢リスト

- ☐ 1. 視界（みるもの）がゆがんで見える（変形症）
☐ 2. 視界の中心がみえない（黒く欠ける部分がある）
☐ 3. 急激に視力が低下する（老眼などの影響によるゆるやかな視力の低下ではない）
☐ 4. 色覚の異常がある（色がわからなくなることがある）
☐ 5. その他

FA

FAS

Q2

最初に自覚した症状【【Q1S2の選択内容】【Q1S2_5FAの選択内容】】が出たのは何歳くら
 いの時ですか。
 ※覚えていない／わからない方は「999」とお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

1. Q2S1 【N】歳

Q2S1N

SAR

Q3

加齢黄斑変性（症）による目の症状を、最初に自覚してから初めて医療機関（病院）を受
 診するまでにどのくらいの期間がかりましたか。
 あてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 自覚してすぐに（1か月未満）
☐ 2. 1か月～3か月未満
☐ 3. 3か月～6か月未満
☐ 4. 6か月～1年未満
☐ 5. 1年～2年未満
☐ 6. 2年～3年未満
☐ 7. 3年～5年未満
☐ 8. 5年～10年未満
☐ 9. 10年以上
☐ 10. 覚えていない／よくわからない

MAC

Q4

では、加齢黄斑変性（症）による目の症状を自覚してすぐに医療機関（病院）を受診しな
 かった理由はどれですか。
 あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 老眼による影響と思ったから
☐ 2. 日常生活にあまり支障がなかったから
☐ 3. 市販の薬やサプリメントで改善できると思ったから
☐ 4. 放っておいても治ると思ったから
☐ 5. 医療機関を受診するほどではない（たいしたことはない）と思ったから
☐ 6. 忙しくて受診できなかったから
☐ 7. あまり気にならなかったから
☐ 8. 他の病気や症状の受診を優先したから
☐ 9. その他【FA】

Q4_9FA

MAC

Q5

あなたは加齢黄斑変性（症）について、どのようなことがきっかけで医療機関（病院）を受診しましたか。
あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 目の症状（視界のゆがみや中心が見えない、色覚異常）により（ひどくなり）、受診する必要
があると感じたので
- ☐ 2. 急激な視力の低下により、受診する必要があると感じたので
- ☐ 3. 日常生活に支障が出た（出てきた）ので
- ☐ 4. 健康診断で眼科の受診を勧められたので
- ☐ 5. 車の免許の更新時に視力低下の指摘を受けたので
- ☐ 6. 自分で病気のことを調べて、受診する必要があると感じたので
- ☐ 7. 気分の落ち込み、ストレスを感じるようになってきたので
- ☐ 8. 市販の薬やサプリメントで効果がなかったため
- ☐ 9. 家族や友人などに勧められて
- ☐ 10. 加齢黄斑変性で治療している（した）人に勧められて（治療経験をみて／きいて）
- ☐ 11. テレビやラジオ、雑誌、新聞などのメディアで病気の情報をみたので
- ☐ 12. 別の病気でかかっている医師やかかりつけ医に受診を勧められたので
- ☐ 13. その他【FA】

Q5_13FA

SAR

Q6

あなたの加齢黄斑変性（症）について、現在までにどちらの目（又は両目）に診断されていま
すか。
あてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 左目のみ（診断されている）
- ☐ 2. 右目のみ（診断されている）
- ☐ 3. 両目（で診断されている）

SAR

Q7

あなたが加齢黄斑変性（症）と医師から（確定）診断されてから、実際に治療を開始するま
でにどのくらいの期間がかかりましたか。
最も近いものを1つお選びください。
※なお、診断された日と同日に治療を開始した人は、診断された日は含めず、治療のために受
診された次の受診機会までの期間をお答えください。
※また、医師に指示された期間ではなく、あなたが実際に治療を開始するまでの期間をお答えく
ださい。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 2週間未満
- ☐ 2. 2週間～1か月未満
- ☐ 3. 1か月～2か月未満
- ☐ 4. 2か月～3か月未満
- ☐ 5. 3か月～6か月未満
- ☐ 6. 6か月～1年未満
- ☐ 7. 1年以上
- ☐ 8. 覚えていない／よくわからない

MTS

Q8

あなたが加齢黄斑変性（症）の治療で、最初に受診した医療機関と現在受診している医療
機関（診療科）はどこですか。
※複数の医療機関を受診されている人は、主なもの1つについてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q8S1 最初に受診した医療機関
- Q8S2 現在受診している医療機関

選択肢リスト

- ☐ 1. 眼科専門の医院・診療所・クリニック（開業医）
- ☐ 2. 眼科専門の病院（〇〇眼科病院、眼科〇〇病院などの名称）
- ☐ 3. 一般・総合病院（大学病院以外の病院）の眼科（外来）
- ☐ 4. 大学病院の眼科（外来）
- ☐ 5. その他

FA

SAR

Q9

現在、あなたが加齢黄斑変性（症）の治療のために、医師から指示されている受診（通
院）頻度はどのくらいですか。
最も近いものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 週1回程度（以上）
- ☐ 2. 月2回程度
- ☐ 3. 月1回程度
- ☐ 4. 2か月に1回程度
- ☐ 5. 3か月に1回程度
- ☐ 6. 上記より少ない頻度
- ☐ 7. 症状が悪化したときだけ
- ☐ 8. その他【FA】
- ☐ 9. 特に指示されていない

Q9_SFA

SAR

Q10

では、前問（Q9）で回答した医師から指示されている受診（通院）頻度【【Q9の選択内
容】】に比べて、実際のあなたの受診（通院）頻度はどのようなものですか。
最も近いものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 医師の指示通りに受診（通院）している
- ☐ 2. 医師の指示より多く受診（通院）している
- ☐ 3. 医師の指示より少なく受診（通院）している

MAC

Q11

前問（Q10）で「医師の指示より少なく受診（通院）している」と回答した人にお伺いしま
す。
医師の指示より少ない受診（通院）頻度になっている理由は何ですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）
※抗VEGF薬の製品名はアイリーア、アバスタチン、ベオビュ、マクゼン、ルセンチス、ラニビスマブ
BS（ルセンチスのジェネリック）があります。
なお、アバスタチンは加齢黄斑変性（症）では保険適用されない（保険がきかない）薬剤で
す。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 治療による効果が出て、症状が改善したから
- ☐ 2. 治療による効果が出ず、症状が改善しないから
- ☐ 3. 忙しくて受診できないから
- ☐ 4. 日常生活に支障がないから
- ☐ 5. （目への）注射治療（抗VEGF薬による治療）が嫌だから
- ☐ 6. （目への）レーザー治療（光線力学的療法）が嫌だから
- ☐ 7. 受診（頻度）が多い／多すぎと思うから
- ☐ 8. 病院での待ち時間が長いから
- ☐ 9. 病院に行くのが面倒だから
- ☐ 10. 治療費が高いから
- ☐ 11. 新型コロナウイルス感染症が流行した影響で受診を控えたから
- ☐ 12. その他【FA】

Q11_12FA

SAR

Q12

あなたはこれまでに、加齢黄斑変性（症）の治療（医療機関への受診）をあなた自身の判
断で中断したことはありましたか。
あてはまるほうを1つお選びください。
※1～2度受診しなかったことは含まず、ある程度の期間中断したことをお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 中断したことがある
- ☐ 2. 中断したことはない

MAC

Q13

では、加齢黄斑変性（症）の治療を、あなたが自身の判断で中断した理由について、あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 治療により、目の症状が改善したから
- ☐ 2. 治療により、目の症状が改善しなかったから
- ☐ 3. 治療により、副作用や感染症が出たから
- ☐ 4. 忙しくて受診できなくなったから
- ☐ 5. 日常生活に支障がなかった（なくなった）から
- ☐ 6. 自分で対処できると思ったから
- ☐ 7. （目への）注射治療（抗VEGF薬による治療）が嫌だったから
- ☐ 8. （目への）レーザー治療（光線力学的療法）が嫌だったから
- ☐ 9. 病院での待ち時間が長かったから
- ☐ 10. 病院に行くのが面倒だったから
- ☐ 11. 医師とのコミュニケーションがよくなかった／医師の治療方針に合わなかったから
- ☐ 12. 治療費が高いと思った／治療費の支払いが困難になったから
- ☐ 13. 新型コロナウイルス感染症が流行した影響で受診を控えたから
- ☐ 14. その他【FA】

Q13 14FA

MTM

Q14

あなたが医療機関で行っている加齢黄斑変性（症）の治療内容について、これまで行ったことがある治療と、そのうち現在行っている治療をそれぞれすべてお選びください。（それぞれいくつでも）

※医療機関以外で行っている治療は除いてお答えください。

※「抗VEGF薬の眼内（硝子体内）注射」は目安として直近3か月以内に行っている場合に、現在行っているものと判断してください。

※現在「経過観察（積極的な治療は行わず、経過を見るのみ）」を行っている方は、項目2「（うち）現在行っている治療」では「経過観察（積極的な治療は行わず、経過を見るのみ）」のみをお選びください。

※マクジンは現在は販売を中止しており、使用できない薬剤です。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q14S1 1. これまでに行ったことのある治療（いくつでも）
- Q14S2 2. （うち）現在行っている治療（いくつでも）

選択肢リスト

- ☐ 1. 抗VEGF薬による眼内（硝子体内）注射（薬剤名：アイリニア、アバスチン、ベオビュ、マクジン、ルセンティス、ラニズマブBS）
- ☐ 2. 光線力学的療法（PDT）（ヒスチンと呼ばれる薬剤を点滴（静脈）注射し、約15分後に網の黄斑部に特殊なレーザー光を照射する治療）
- ☐ 3. 飲み薬（内服薬）、サプリメントの処方
- ☐ 4. ステロイドの眼内注射
- ☐ 5. その他
- ☐ 6. 経過観察（積極的な治療は行わず、経過を見るのみ）

FA

SAR

Q15

抗VEGF薬による眼内（硝子体内）注射をこれまでに行ったことがある人にお伺いします。

あなたが加齢黄斑変性（症）の治療で、初めて抗VEGF薬による眼内（硝子体内）注射を行ったのは、医療機関で加齢黄斑変性（症）の治療を開始してからどのくらいの期間が経ってからでしたか。

最も近いものを1つお選びください。

※抗VEGF薬の製品名はアイリニア、アバスチン、ベオビュ、マクジン、ルセンティス、ラニズマブBS（ルセンティスのジェネリック）があります。

なお、アバスチンは加齢黄斑変性（症）では保険適用されない（保険がきかない）薬剤です。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 1か月未満
- ☐ 2. 1か月～3か月未満
- ☐ 3. 3か月～6か月未満
- ☐ 4. 6か月～1年未満
- ☐ 5. 1年～2年未満
- ☐ 6. 2年～3年未満
- ☐ 7. 3年～5年未満
- ☐ 8. 5年以上
- ☐ 9. 覚えていない／よくわからない

MTM

Q16

では、あなたが行ったことのある抗VEGF薬の眼内（硝子体内）注射による治療で、使用したことのあるお薬はどれですか。

また、現在行っている人は、現在使用されているお薬も合わせてお選びください。

※目安として直近3か月以内に使用したお薬を、現在使用しているものと判断してください。

なお、アバスチンは加齢黄斑変性（症）では保険適用されない（保険がきかない）薬剤です。

また、マクジンは現在は販売を中止している薬剤です。

※表示された項目についてお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q16S1 1. これまで使用したことのある抗VEGF薬（眼内注射薬）（いくつでも）
- Q16S2 2. 現在使用している抗VEGF薬（眼内注射薬）（ひとつだけ）

選択肢リスト

- ☐ 1. アイリニア
- ☐ 2. アバスチン
- ☐ 3. ベオビュ
- ☐ 4. マクジン
- ☐ 5. ルセンティス
- ☐ 6. ラニズマブBS（ルセンティスのジェネリック）
- ☐ 7. その他
- ☐ 8. 使用した薬（抗VEGF薬）の名前がわからない

FA

SAR

Q17

現在行っている抗VEGF薬による眼内（硝子体内）注射治療は、どれくらいの間隔で行われて（注射されて）いますか。

最もあてはまる（近い）ものを1つお選びください。

※抗VEGF薬の製品名はアイリニア、アバスチン、ベオビュ、マクジン、ルセンティス、ラニズマブBS（ルセンティスのジェネリック）があります。

なおアバスチンは加齢黄斑変性（症）では保険適用されない（保険がきかない）薬剤であり、マクジンは現在は販売を中止している薬剤です。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 1か月（4週間）に1回（程度）
- ☐ 2. 2か月（8週間）に1回（程度）
- ☐ 3. 3か月（12週間）に1回（程度）
- ☐ 4. 上記（1か月に1回）より多い
- ☐ 5. 上記（3か月に1回）より少ない
- ☐ 6. その他【FA】

Q17 6FA

SAR

Q18

あなたが現在行っている眼内（硝子体内）注射治療で使用している薬（抗VEGF薬）について、どれくらいの期間連続して使用していますか。

あてはまるものを1つお選びください。

※抗VEGF薬の製品名はアイリニア、アバスチン、ベオビュ、マクジン、ルセンティス、ラニズマブBS（ルセンティスのジェネリック）があります。

なおアバスチンは加齢黄斑変性（症）では保険適用されない（保険がきかない）薬剤であり、マクジンは現在は販売を中止している薬剤です。

※以前同じ薬を注射されていたが、途中で中断され、最近また注射され始めた場合は、中断後に再び注射され始めてからの期間をお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 3か月未満
- ☐ 2. 3か月～6か月未満
- ☐ 3. 6か月～1年未満
- ☐ 4. 1年～2年未満
- ☐ 5. 2年～3年未満
- ☐ 6. 3年～5年未満
- ☐ 7. 5年以上
- ☐ 8. 覚えていない／よくわからない

MAC

Q19

あなたが現在行っている眼内（硝子体内）注射治療で使用している薬（抗VEGF薬）を、使用する前に行っていただけた治療はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。
※抗VEGF薬の製品名はアイリーア、アバスチン、ベオピュ、マクジェン、ルセンティス、ラニズマブBS（ルセンティスのジェネリック）があります。
なおアバスチンは加齢黄斑変性（症）では保険適用されない（保険がきかない）薬剤であり、マクジェンは現在は販売を中止している薬剤です。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 他の抗VEGF薬を用いた眼内（硝子体内）注射治療を行っていた
☐ 2. 眼内（硝子体内）注射治療以外の治療を行っていた
☐ 3. 経過観察（積極的な治療は行わず、経過を見るのみ）を行っていた
☐ 4. （初めての治療なので）特に治療を行っていなかった
☐ 5. よくわからない／覚えていない

MAC

Q20

では、現在の眼内（硝子体内）注射治療を行う前に、「他の抗VEGF薬を用いた眼内（硝子体内）注射治療を行っていた」人にお伺いします。
他の抗VEGF薬から現在の抗VEGF薬に切り替えた理由はどれですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 前に使用した眼内注射薬（抗VEGF薬）の効果が弱くなった（なくなった）から
☐ 2. 前に使用した眼内注射薬（抗VEGF薬）の効果が不十分だったから
☐ 3. 前に使用した眼内注射薬（抗VEGF薬）で副作用や感染症が出たから
☐ 4. 前に使用した眼内注射薬（抗VEGF薬）の投与（注射）間隔が短かったから
☐ 5. 前に使用した眼内注射薬（抗VEGF薬）の治療費が負担だったから
☐ 6. その他【FA】
☐ 7. 理由はわからないが、医師から変更を言われたから

Q20_6FA

MTS

Q21

あなたがこれまでにに行ったことがある、抗VEGF薬の眼内（硝子体内）注射治療について、目の症状（視界のゆがみや中心が見えない、色覚異常）に対する効果は高いと感じていますか。
製品ごとにそれぞれお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q21S1 1. アイリーア
 Q21S2 2. アバスチン
 Q21S3 3. ベオピュ
 Q21S4 4. マクジェン
 Q21S5 5. ルセンティス
 Q21S6 6. ラニズマブBS（ルセンティスのジェネリック）
 Q21S7 7. その他【Q16S1_7FAの選択内容】
 Q21S8 8. 使用した薬（抗VEGF薬）の名前がわからない薬

選択肢リスト

- ☐ 1. 大変そう思う
☐ 2. ややそう思う
☐ 3. どちらともいえない
☐ 4. あまりそう思わない
☐ 5. まったくそう思わない
☐ 6. この薬を使うときに、目の症状（視界のゆがみや中心が見えない、色覚異常）はなかった

MTS

Q22

あなたがこれまでにに行ったことがある、抗VEGF薬の眼内（硝子体内）注射治療について、視力の回復に対する効果は高いと感じていますか。
製品ごとにそれぞれお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q22S1 1. アイリーア
 Q22S2 2. アバスチン
 Q22S3 3. ベオピュ
 Q22S4 4. マクジェン
 Q22S5 5. ルセンティス
 Q22S6 6. ラニズマブBS（ルセンティスのジェネリック）
 Q22S7 7. その他【Q16S1_7FAの選択内容】
 Q22S8 8. 使用した薬（抗VEGF薬）の名前がわからない薬

選択肢リスト

- ☐ 1. 大変そう思う
☐ 2. ややそう思う
☐ 3. どちらともいえない
☐ 4. あまりそう思わない
☐ 5. まったくそう思わない
☐ 6. この薬を使うときに、視力の低下はなかった

MTM

Q23

あなたがこれまでにに行ったことがある、抗VEGF薬の眼内（硝子体内）注射治療の不満点として、それぞれあてはまるものをすべてお選びください。（それぞれいくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q23S1 1. アイリーア
 Q23S2 2. アバスチン
 Q23S3 3. ベオピュ
 Q23S4 4. マクジェン
 Q23S5 5. ルセンティス
 Q23S6 6. ラニズマブBS（ルセンティスのジェネリック）
 Q23S7 7. その他【Q16S1_7FAの選択内容】
 Q23S8 8. 使用した薬（抗VEGF薬）の名前がわからない薬

選択肢リスト

- ☐ 1. 症状に対する改善効果が不十分
☐ 2. 症状に対する改善効果がすぐに現れない
☐ 3. 症状に対する改善効果が長続きしない
☐ 4. 副作用や感染症が出たことがある／リスクがある
☐ 5. （眼内）注射する間隔が短い
☐ 6. （眼内）注射する間隔が長い（注射による治療を長期間継続する必要がある）
☐ 7. （眼内）注射自体が嫌
☐ 8. 薬剤費（薬の費用）が高い／経済的な負担が大きい
☐ 9. その他
☐ 10. 特に不満な点はない

FA

SAR

Q24

あなたが現在医療機関で行っている加齢黄斑変性（症）の治療全体（眼内注射、レーザー治療、飲み薬など）について、症状に対する効果の満足度として、最も近いものをお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 大変満足している
☐ 2. やや満足している
☐ 3. どちらともいえない
☐ 4. あまり満足していない
☐ 5. まったく満足していない

SAR

Q25

あなたが現在医療機関で行っている加齢黄斑変性（症）の治療全体（眼内注射、レーザー治療、飲み薬など）について、効果や安全性、使用頻度、治療しやすさ、薬剤費（薬の費用）などを含めた総合的な満足度を教えてください。

「0点」を「非常に不満足」、「100点」を「非常に満足」とした場合、最も近い点数をお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 0点（非常に不満足）
- ☐ 2. 10点
- ☐ 3. 20点
- ☐ 4. 30点
- ☐ 5. 40点
- ☐ 6. 50点
- ☐ 7. 60点
- ☐ 8. 70点
- ☐ 9. 80点
- ☐ 10. 90点
- ☐ 11. 100点（非常に満足）

MTM

Q26

加齢黄斑変性（症）について、医師から日常生活で気をつけるよう指示されて（言われて）いることはありますか。

また、実際にあなたが気をつけていることはありますか。

それぞれあてはまるものをすべてお選びください。（それぞれいくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q26S1 ☐ 1. 医師から日常生活で気をつけるよう指示されていること（いくつでも）
- Q26S2 ☐ 2. 実際に気をつけていること（いくつでも）

選択肢リスト

- ☐ 1. 禁煙すること
- ☐ 2. 紫外線（日光）を避ける／紫外線（日光）から目を保護すること
- ☐ 3. 食生活を改善すること
- ☐ 4. 市販のサプリメントを服用すること
- ☐ 5. その他
- ☐ 6. 医師から特に指示されていない
- ☐ 7. 実際に気をつけていることはない

SAR

Q27

あなたは普段の加齢黄斑変性（症）における診察時に、治療に関する相談やご自身の症状などについて、医師にどの程度伝えることができていますか。

最も近いものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. （ほとんど）あなたが思っていた通り、伝えることができる
- ☐ 2. あなたが思っていたことの半分以上は、伝えることができる
- ☐ 3. あなたが思っていたことを、あまり伝えることができている
- ☐ 4. あなたが思っていたことを、まったく伝えることができている

MAC

Q28

では、普段の加齢黄斑変性（症）における診察時に、治療に関する相談やご自身の症状などを、あなたの思っていた通りに医師に伝えることができているのは、どのような理由からですか。

あてはまるものがあればすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 診察時間が短いから
- ☐ 2. 処置（治療）で時間をとるので、十分に話をする時間がないから
- ☐ 3. 医師があなたに症状や相談ことを聞かないから（医師が一方的に話して終わり）
- ☐ 4. 伝えることが多く（まとまらずに）、どう伝えればよいかわからなくなるから
- ☐ 5. 緊張して、何を伝えればよいかわからなくなるから
- ☐ 6. 伝えても、あなたにとって十分な返事が返ってこないと思っているから
- ☐ 7. その他【FA】

MAC

Q29

あなたが加齢黄斑変性（症）の治療において、医師や医療機関（病院）に対して不満に感じていることがあればすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 診察時間が短い
- ☐ 2. 診察時間が長い
- ☐ 3. 病院での待ち時間が長い
- ☐ 4. 受診（通院）間隔が短い
- ☐ 5. 受診（通院）間隔が長い
- ☐ 6. 医師の治療方針に合わない／希望の治療が受けられない
- ☐ 7. 医師とのコミュニケーションがよい
- ☐ 8. 医師以外の病院関係者（看護婦や受付など）とのコミュニケーションがよい
- ☐ 9. 病院へのアクセスが悪い（遠い）
- ☐ 10. 希望の日に受診の予約がとれない（ことがある）
- ☐ 11. その他【FA】
- ☐ 12. 特に不満に感じていることはない

SAR

Q30

あなたが加齢黄斑変性（症）の治療のために、医療機関に支払う費用（自己負担額）は、1か月あたりで平均して大体どれくらいになりますか。

最も近いものを1つお選びください。

※直近3か月間ぐらいたんぽとして、1か月あたりの平均費用をお答えください。

※医療機関受診後に薬局で支払う費用も足し合わせた金額でお答えください。

市販薬（ドラッグストア、薬局で購入できる薬）、サプリメントは除きます。

※税込みの金額で構いません。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 月0円（自己負担なし）
- ☐ 2. 月1円～1,000円未満
- ☐ 3. 月1,000円～3,000円未満
- ☐ 4. 月3,000円～5,000円未満
- ☐ 5. 月5,000円～10,000円未満
- ☐ 6. 月10,000円～20,000円未満
- ☐ 7. 月20,000円～30,000円未満
- ☐ 8. 月30,000円～40,000円未満
- ☐ 9. 月40,000円～50,000円未満
- ☐ 10. 月50,000円以上
- ☐ 11. 覚えていない／よくわからない

SAR

Q31

あなたの医療費に対する自己負担額の割合について、あてはまるものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 1割負担
- ☐ 2. 2割負担
- ☐ 3. 3割負担
- ☐ 4. その他【FA】

SAR

Q32

あなたは直近3か月に、高額療養費制度を利用されましたか（受給しましたか）。

あてはまるものを1つお選びください。

※直近3か月間に一度でも高額療養費を受給した場合は、「利用（受給）した」をお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. （直近3か月に）利用（受給）した
- ☐ 2. （直近3か月に）利用（受給）していない
- ☐ 3. 覚えていない／よくわからない

MAC

Q33

加齢黄斑変性（症）の影響により、あなたが日常生活で困っている（悩んでいる）ことは何ですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 仕事や家事に支障がある
- ☐ 2. 精神的な負担（ストレス）が大きい
- ☐ 3. 物事に対する意欲（やる気）が起きない
- ☐ 4. 周りが病気のことを理解してくれない
- ☐ 5. 家族や友人との関係に支障がある
- ☐ 6. 車やバイクの運転に支障がある
- ☐ 7. 自転車に乗ることに支障がある
- ☐ 8. パソコンやスマートフォンに制限がある（使用しづらい）
- ☐ 9. テレビを見ることに制限がある（見づらい）
- ☐ 10. 本や新聞などが読みにくい
- ☐ 11. （見えづらいので）普段の外出が怖い／億劫（おっくう）になる
- ☐ 12. 紫外線が心配なので、外出しづらい
- ☐ 13. 旅行やスポーツなど好きなことが十分にできない
- ☐ 14. その他【FA】
- ☐ 15. 特に困っていることはない

Q33 14FA

MTS

Q34

あなたは加齢黄斑変性（症）について、下記のようなことを知っていましたか。
あてはまるものをそれぞれ1つお選びください。
※このアンケートを回答する前に知っていたかをお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q34S1 1. 根本的な治療がなく、病気の進行を遅らせる治療であること
- Q34S2 2. 放っておくと、失明する可能性があること
- Q34S3 3. 加齢だけが原因ではなく、それ以外の要因（生活習慣（食生活、喫煙）や紫外線、遺伝など）も関わっていること

選択肢リスト

- ☐ 1. 知っている
- ☐ 2. 知らなかった

SAR

Q35

加齢黄斑変性（症）の治療において、根本治療（完治できる治療）ではないが、これまでの治療より症状に対する効果が高い眼内（硝子体内）注射薬が承認（発売）された場合、どの程度使用したいと思いますか。
※病気の進行を遅らすこと、視力を回復させることができる薬であり、根本治療（完治できる治療）ではありません。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. ぜひ使用したい
- ☐ 2. やや使用したい
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. あまり使用したくない
- ☐ 5. まったく使用したくない

MAC

Q36

前問（Q35）で「どちらともいえない／あまり使用したくない／まったく使用したくない」と回答されたのは、どのような理由からですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 本当に効果があるかわからないから
- ☐ 2. どのような副作用や感染症があるか心配だから
- ☐ 3. 薬剤費（薬の費用）が高くなるのが嫌だから
- ☐ 4. 眼内（硝子体内）注射自体が嫌だから／受けたくないから
- ☐ 5. 現在の治療に満足しているから
- ☐ 6. 現在症状が改善している／このような薬を使用するほど症状が悪くないから
- ☐ 7. 使用する薬については医師に任せているから
- ☐ 8. 根本治療（完治できる治療）ではないので、現在の治療を変える必要性を感じないから
- ☐ 9. その他【FA】

Q36 9FA

RNK

Q37

前問（Q35）で回答された、根本治療（完治できる治療）ではないが、これまでの治療より症状に対する効果が高い眼内（硝子体内）注射薬を使用する場合、以下の項目について、重要度が高いと思うものを最大3つまで重要度が高い順にお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

順位回答（3位/番目まで）

- ☐ 1. 目の症状（視界のゆがみや中心が見えない、色覚異常）に対する効果が高いこと
- ☐ 2. 視力の改善効果が高いこと
- ☐ 3. 病気の進行を遅らせる効果が高いこと
- ☐ 4. 安全性（副作用や感染症）のリスクが低い（少ない）こと
- ☐ 5. 注射する頻度が低い（少ない）／投与間隔が長いこと
- ☐ 6. 注射する期間が短いこと（短期間の注射で終了・中断できる）
- ☐ 7. 医療機関での治療時間が短いこと
- ☐ 8. 薬剤費（薬の費用）が安いこと
- ☐ 9. 上記に重要度が高いものはない

MTS

Q38

加齢黄斑変性（症）の治療において、毎日服用する（飲む）飲み薬が承認（発売）された場合、以下の項目におけるあなたの使用意向をそれぞれお答えください。
※根本治療（完治できる治療）ではなく、病気の進行を遅らせることや視力を回復させることを目的とした薬です。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q38S1 1. 既存の眼内注射薬（抗VEGF薬）と同等の効果があり、眼内注射薬の代わりに使用できる
- Q38S2 2. 既存の眼内注射薬（抗VEGF薬）より効果は劣るが、眼内注射薬の代わりに使用できる
- Q38S3 3. 既存の眼内注射薬（抗VEGF薬）と一緒に使用（併用）することで、眼内注射薬を単独で使用するより、高い効果がある

選択肢リスト

- ☐ 1. ぜひ使用したい
- ☐ 2. やや使用したい
- ☐ 3. どちらともいえない
- ☐ 4. あまり使用したくない
- ☐ 5. まったく使用したくない

SAR

Q39

加齢黄斑変性（症）の治療において、iPS細胞を用いた細胞移植治療（再生医療）が承認され、病気を根本的に治療する（完治する）ことが可能になった場合、あなたのお考えに最も近いものを1つお選びください。
※詳細な治療内容や頻度、費用などは考えず、質問文を読んだうえで興味があるか、受けてみたいかをお答えください。

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 興味があるし、受けてみたいと思う
- ☐ 2. 興味があるが、受けてみたいとは思わない
- ☐ 3. 興味がない
- ☐ 4. よくわからないので、判断できない

MAC

Q40

前問（Q39）の治療（iPS細胞を用いた細胞移植治療（再生医療））を受ける場合に、心配（不安）に思うことは何ですか。
あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. （治療を受けても）確実に病気が治るか（完治するか）
- ☐ 2. 安全性（副作用や移植による拒絶反応等）のリスク
- ☐ 3. 治療するための費用
- ☐ 4. 治療する頻度や回数
- ☐ 5. 治療可能な施設が限られる
- ☐ 6. （他の病気も含め）再生医療自体が標準治療でない／よく知られていない（エビデンスが乏しい）
- ☐ 7. その他【FA】

Q40 7FA

MAC

Q41

前問（Q39）の治療（iPS細胞を用いた細胞移植治療（再生医療））について、「興味はあるが、受けてみたいとは思わない」と回答されたのは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべてお選びください。（いくつでも）

▲ 設問文を折りたたむ

- ☐ 1. 確実に病気が治るか（完治するか）がわからないから
- ☐ 2. 現在の治療に満足しているから
- ☐ 3. 現在は症状が改善している／このような治療を受けるほど症状が悪くないから
- ☐ 4. 治療費が高額になると思うから
- ☐ 5. 治療については医師に任せているから
- ☐ 6. （他の病気も含め）再生医療自体が標準治療でない／よく知られているものでないと思うから（他の病気も含め）再生医療自体の安全性（副作用や移植による拒絶反応等）へのリス
- ☐ 7. クが高いと思うから
- ☐ 8. 治療内容がよくわからないから
- ☐ 9. その他【FA】

Q41_9FA

MTM

Q42

あなたは加齢黄斑変性（症）の治療に関する情報を、主にどこから入手していますか。あてはまるものをすべてお選びください。また、そのうち最も参考している入手先を1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q42S1 1. 情報の入手先（いくつでも）
- Q42S2 2. （うち）最も参考している入手先（ひとつだけ）

選択肢リスト

- ☐ 1. 医師（主治医）
- ☐ 2. 看護師
- ☐ 3. 薬剤師
- ☐ 4. 患者会に参加
- ☐ 5. インターネット（様々なホームページやSNSなど）
- ☐ 6. TV・新聞・雑誌
- ☐ 7. 医療機関の冊子・ポスター
- ☐ 8. 医学関連の書籍
- ☐ 9. その他
- ☐ 10. 特に情報は入手していない

FA

MTM

Q43

では、インターネットで加齢黄斑変性（症）の治療の情報を集めるときに、使用しているサイト（ホームページ）やSNSはどのようなものですか。また、そのうち最も参考しているものを1つお選びください。

▲ 設問文を折りたたむ

項目リスト

- Q43S1 1. 使用しているサイト（又はSNS）（いくつでも）
- Q43S2 2. （うち）最も参考しているサイト（又はSNS）（ひとつだけ）

選択肢リスト

- ☐ 1. 病院やクリニックのサイト
- ☐ 2. 製薬企業のサイト／製薬企業が提供している専門サイト
- ☐ 3. 患者会のサイト
- ☐ 4. 学会のサイト
- ☐ 5. Q&Aサイト（Yahoo！知恵袋、教えて！gooなど）
- ☐ 6. 一般的な疾患情報サイト
- ☐ 7. （患者さんなどの）ブログ
- ☐ 8. （患者さんなどの）Twitter
- ☐ 9. （患者さんなどの）Facebook
- ☐ 10. （患者さんなどの）Instagram（インスタグラム）
- ☐ 11. （患者さんなどの）Youtube
- ☐ 12. その他

FA